

党 要 望 に 対 す る 回 答 書

回答部局課名（学校教育部 指導課）

政 党 名	自民党川口市議会議員団
表 題	教育対策
要 望 番 号	5. 発達障害や不登校に悩む児童生徒への取り組み
要 望 内 容	発達障害や行動上の課題を抱えている児童生徒のための通級指導教室を市内に拡充すること。また、不登校の児童生徒へのサポートとして適応指導教室の拡充や学校サポートを充実させること。
回 答	通常 of 学級に在籍しながら、特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあり、通級指導教室の拡充の必要性があると考えております。 本市におきましては、現在6校に設置し7名の通級担当者が指導を行っております。設置校数につきましては、5年間で1.4倍となっております。 通級指導教室の担当教員は、県教育委員会におきまして、国の基礎定数化に伴い、県立小児医療センターとしての基準が示されたところでございます。 今後、市立校長会や市教職員研修を通じて、発達障害や行動上の課題を抱えている児童生徒への理解推進を進め、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行いながら、通級指導教室の周知をより一層進めて参ります。 不登校児童生徒へのサポートにおきましては、教育研究所に適応指導教室

を開設し、学習・スポーツをはじめ、調理実習や園芸活動といった仲間とかわりあう活動を充実させ適応能力を養い、自信や自立心をもたせ学校復帰および社会的自立ができるよう支援しております。

また、スクールソーシャルワーカーや訪問相談員による家庭訪問をはじめ、相談員やカウンセラーによるカウンセリング等、学校への様々なサポート体制を構築しております。更に、未然防止として、中1ギャップ解消に向けた、小・中連携の取組や、毎月実施の不登校調査による予備軍の早期発見、学校訪問による課題の共有、対応に向けた連携強化など、不登校を出さない取組に力を注いでおります。今後も、発達障害や不登校児童生徒への支援の更なる充実を図って参ります。